

那賀川流域の概要

那賀川は、その源を徳島県那賀郡の剣山山系ジロウギユウ(標高1,929m)に発し、坂州木頭川、赤松川等の支川を合わせ、阿南市上大野において那賀川平野に出て、派川那賀川を分派し紀伊水道に注ぐ、幹川流路延長125km、流域面積874km²の一級河川です。

流域図



代表的な自然・景観



源流部



木頭杉一本乗り大会



大釜の滝



高の瀬峡



鷺敷ライン



カヌー大会



加茂谷鯉まつり



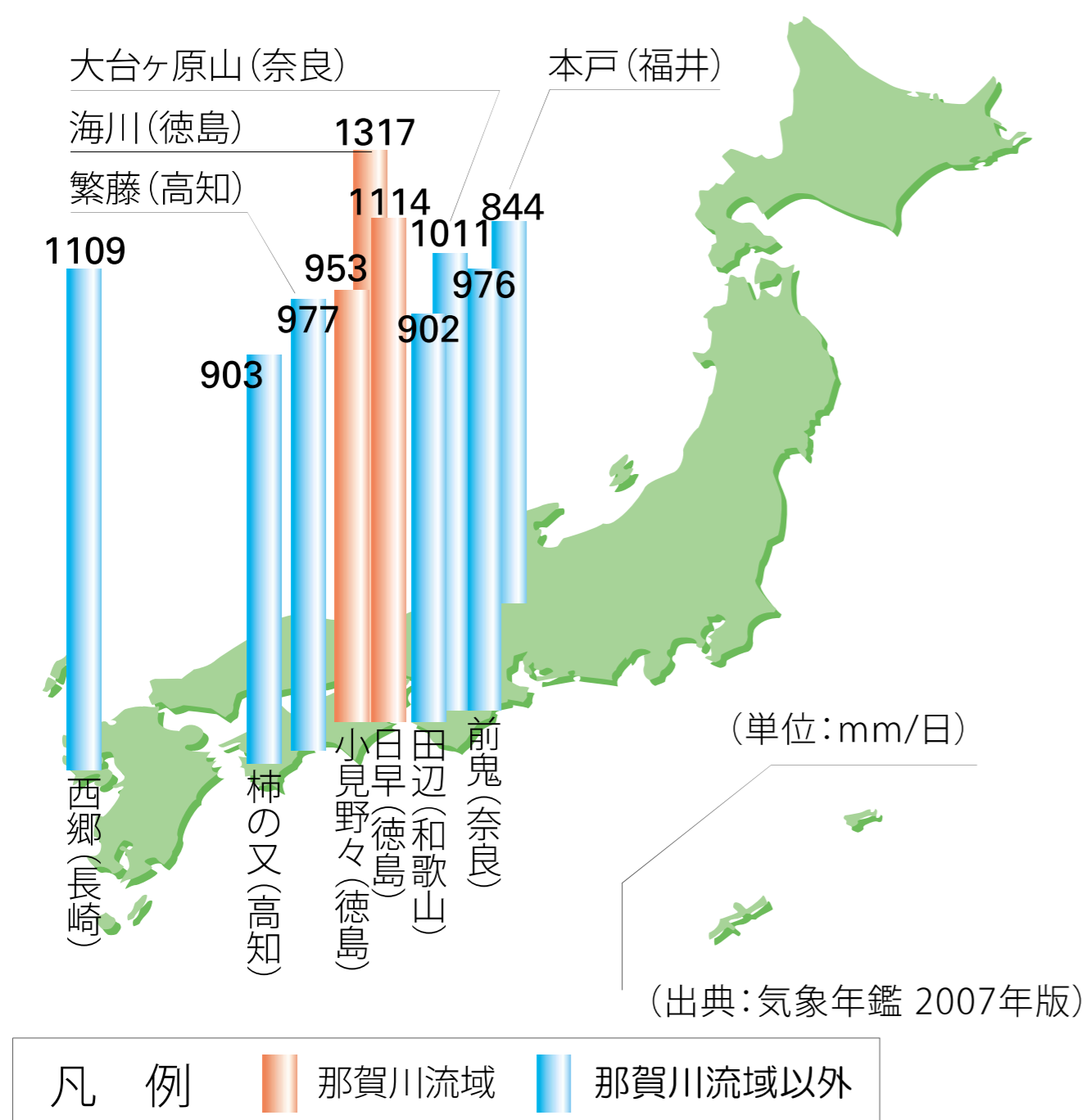
河口

那賀川流域の特性

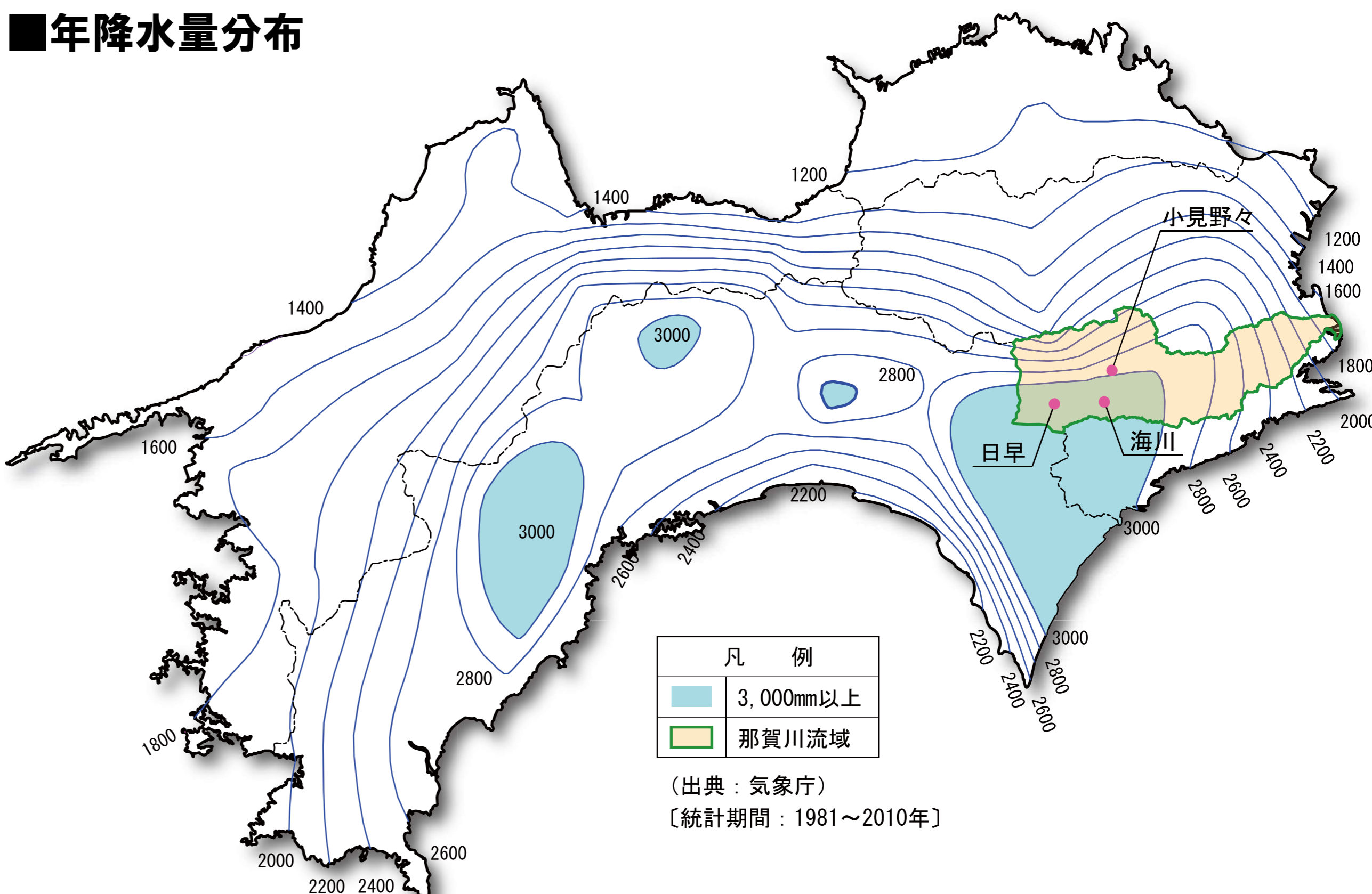
那賀川流域は1日当りの過去最大降雨を記録するなど、日本有数の多雨地帯と言われており、急流河川のため出水時には水位が急激に上昇することや台風の通り道であることと相まって、大きな洪水が発生しやすい特性を有しています。
 また一方で、下流の平野部は典型的な扇状地であり、旧河道が多いことから、一旦はん濫を起こすと水が拡散しやすい地形となっています。

日本有数の多雨地帯

■1日の全国降雨記録トップ10

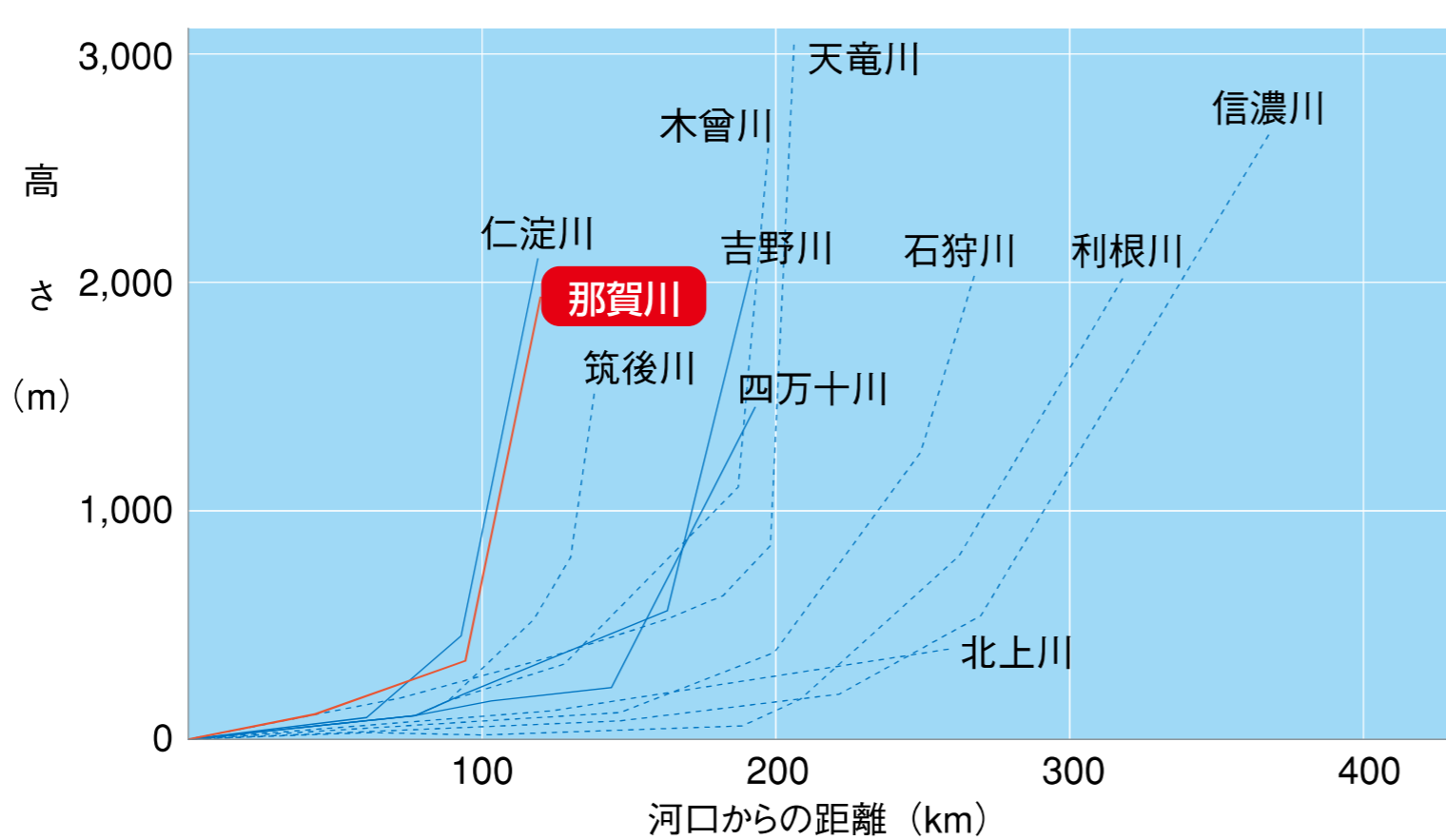


■年降水量分布



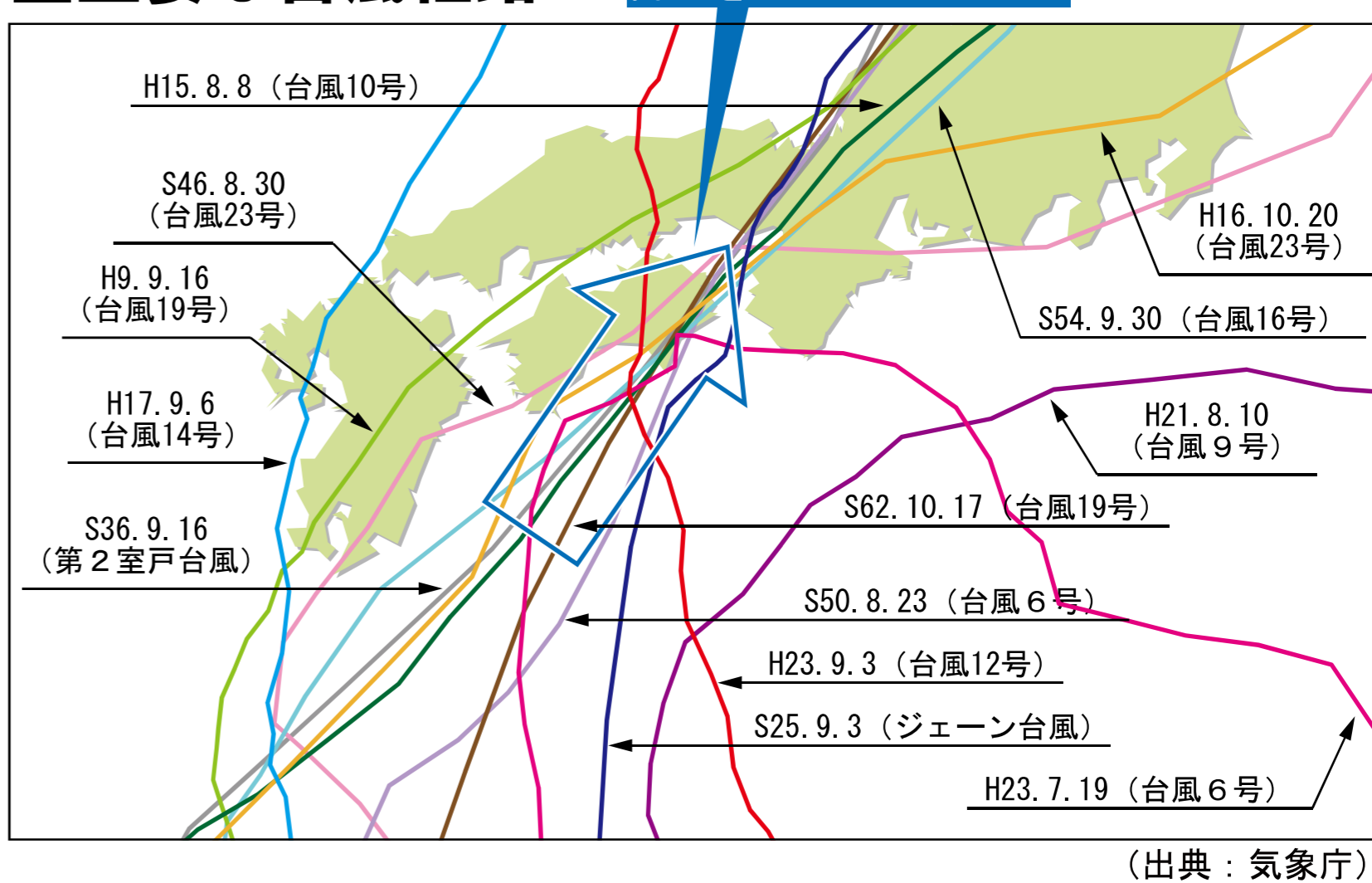
急流河川が台風の通り道に

■那賀川の河床勾配を全国主要河川と比較



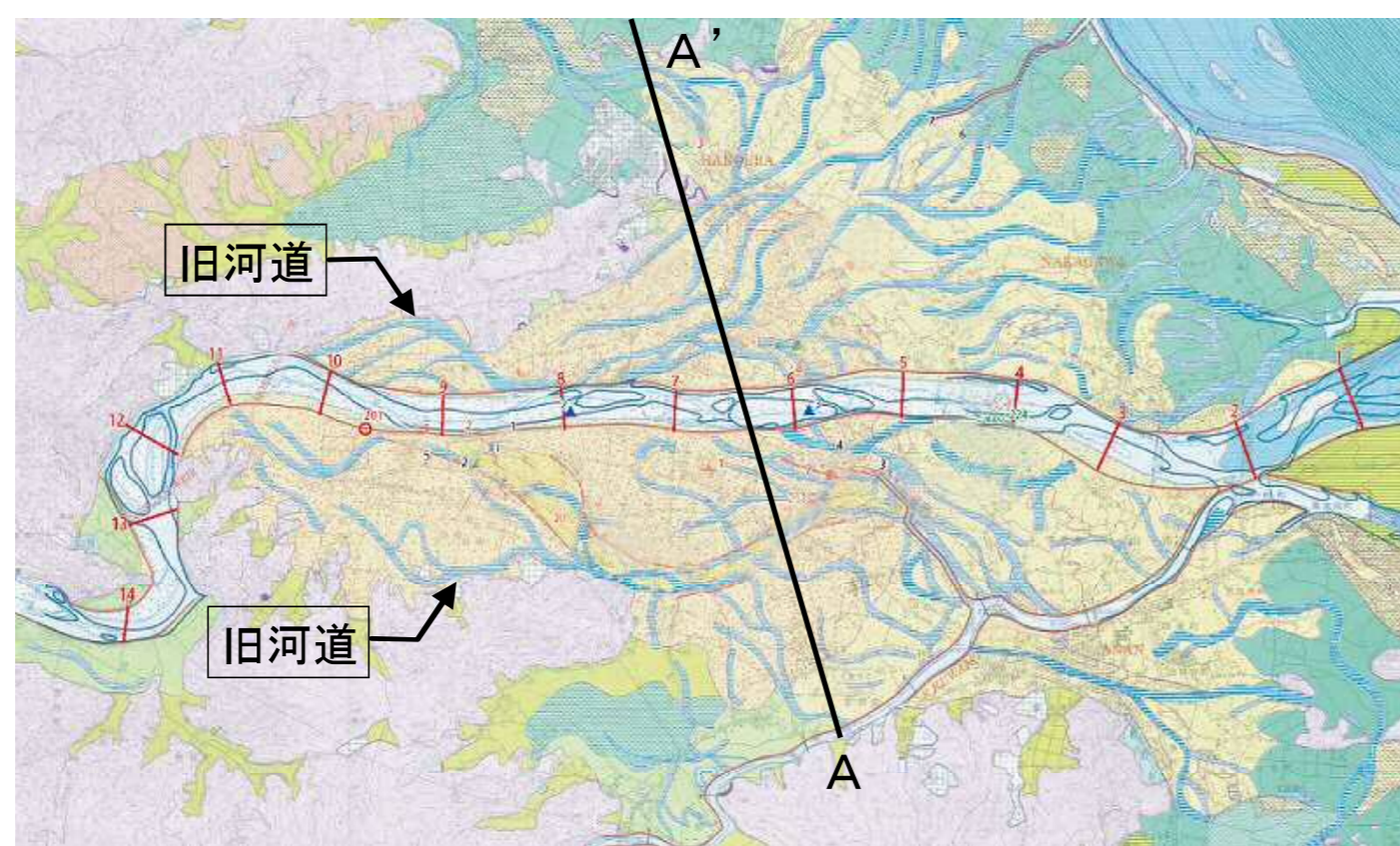
■主要な台風経路

那賀川流域に大きな降雨をもたらしたコース

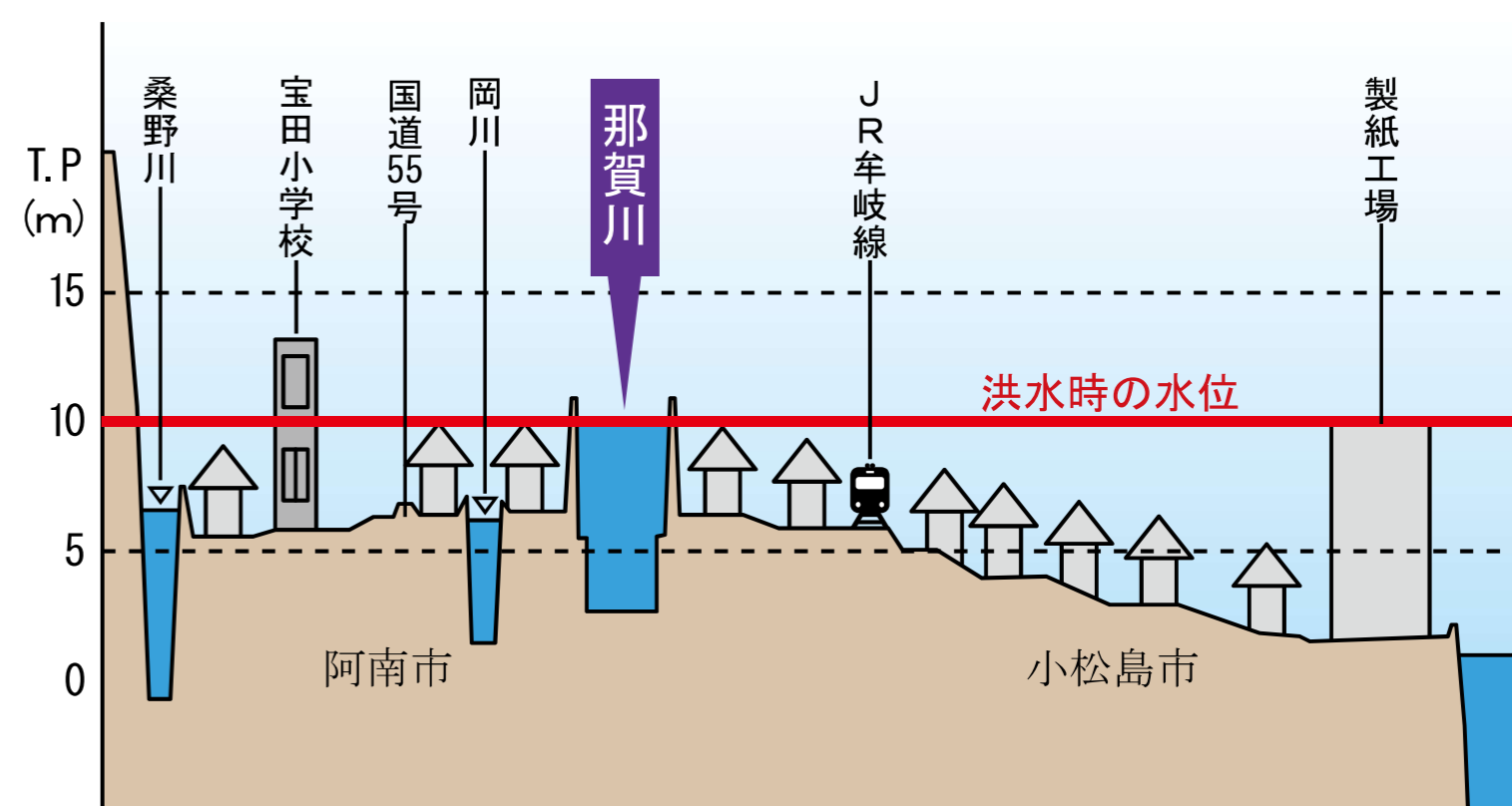


はん濫が拡散しやすい地形特性

■水害地形分類図



■A-A' 断面図



「長安口ダム改造事業」 に至るまでのあらまし

長安口ダムは、戦後の徳島県南の復興のために那賀川の豊富な水資源の利用を目的とした「那賀川総合開発計画」の中核として昭和31年に完成しました。

1950 昭和25年	●「那賀川総合開発計画」に基づく事業を開始
1952 27年	●追立ダム(坂州発電所)完成
1956 31年	●長安口ダム完成
1957 32年	●日野谷発電所完成
1960 35年	●川口ダム完成(川口発電所併設)
	●大美谷ダム(広野発電所の発電専用ダム)完成
1968 43年	●小見野々ダムと、それに付設する蔭平発電所が完成し、「那賀川総合開発計画」は一応の完成
1972 47年	●「細川内ダム実施計画調査」に着手
1993 平成5年	●細川内ダム建設事業に着手
2000 12年	●事業評価監視委員会で、「細川内ダムの建設事業の中止は止むを得ないが、治水・利水・環境について、既存施設の改良を含め、具体的な対策を早急に立案することが必要」との結論をもって事業中止
2006 18年	●「那賀川水系河川整備基本方針」を策定
2007 19年	●「那賀川水系河川整備計画」を策定
	●長安口ダムの管理を徳島県から国土交通省に移管し、ダム機能向上を目的とした長安口ダム改造事業に着手



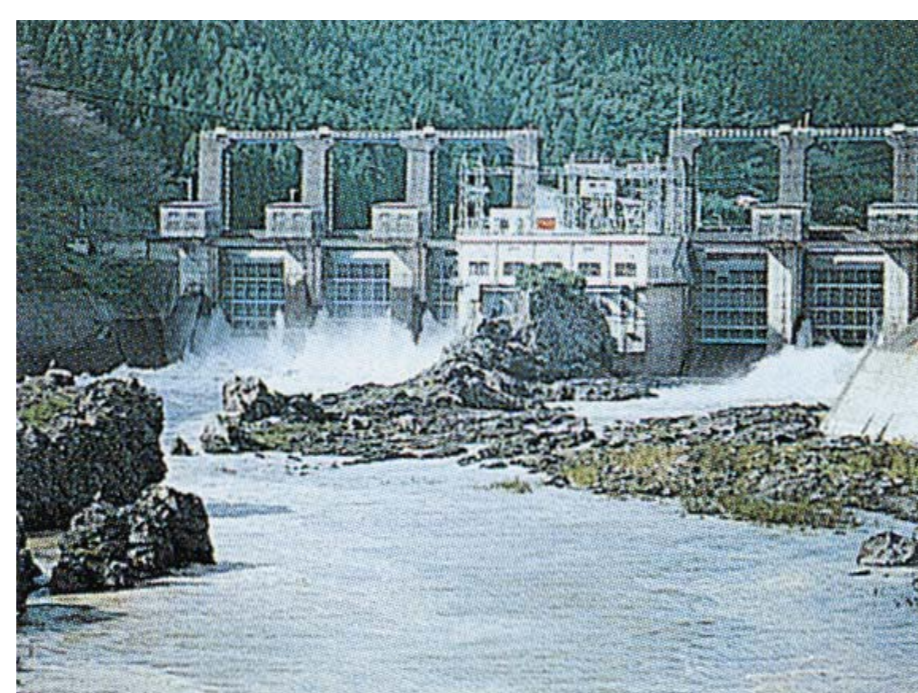
▲長安口ダム



▲日野谷発電所



▲追立ダム



▲川口ダム・川口発電所



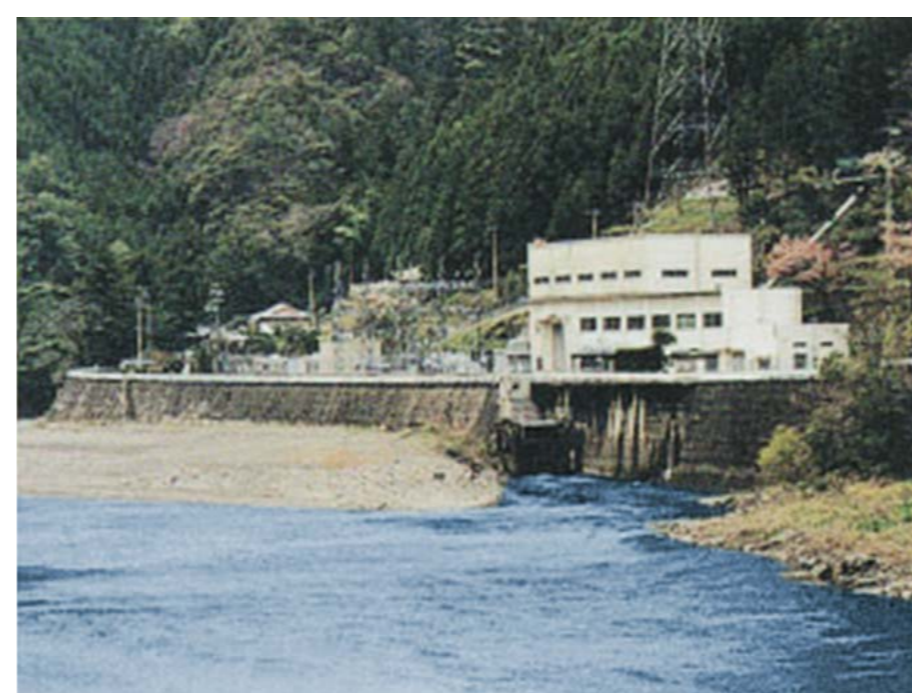
▲大美谷ダム



▲小見野々ダム



▲坂州発電所



▲広野発電所



▲蔭平発電所